

改訂：2026 年 8 月 11 日

Azure 上の Cisco ISE インスタンスのアイデンティティとアクセスの設定

Azure Cloud でのパスワードの回復とリセット

以下のタスクを使用して、Cisco ISE VM のパスワードをリセットまたは回復できます。必要なタスクを選択し、詳細な手順に従います。

Azure ポータルの [Help] > [Reset Password] オプションは、Cisco ISE Azure VM ではサポートされていません。

シリアルコンソールを介した Cisco ISE GUI パスワードのリセット

ステップ 1 Azure Cloud にログインし、Cisco ISE 仮想マシンを含むリソースグループを選択します。

ステップ 2 リソースのリストから、パスワードをリセットする Cisco ISE インスタンスをクリックします。

ステップ 3 左側のメニューの [Help] セクションで、[Serial console] をクリックします。

Azure Cloud Shell が新しいウィンドウに表示されます。

画面が黒い場合は、**Enter** を押してログインプロンプトを表示します。

ここでエラーメッセージが表示された場合は、次の手順を実行してブート診断を有効にする必要がある場合があります。

1. 左側のメニューから、[ブート診断 (Boot diagnostics)] をクリックします。
2. [カスタムストレージアカウントで有効にする (Enable with custom storage account)] をクリックします。
3. ストレージアカウントを選択し、[保存 (Save)] をクリックします。

ステップ 4 シリアルコンソールにログインします。

シリアルコンソールにログインするには、インスタンスのインストール時に設定された元のパスワードを使用する必要があります。

application reset-passwd ise iseadmin コマンドを使用して、iseadmin アカウントの新しい GUI パスワードを設定します。

SSH アクセスのための新しい公開キーペアの作成

次の手順に従って、キーペアをリポジトリに追加します。

Cisco ISE インスタンスの設定時に作成された既存のキーペアは、新しく作成する公開キーに置き換えられません。

ステップ 1 Azure Cloud で新しい公開キーを作成します。『[Generate and store SSH keys in the Azure portal](#)』[英語] を参照してください。

ステップ 2 Azure Cloud シリアルコンソールにログインします。

ステップ 3 公開キーを保存する新しいリポジトリを作成するには、『[Azure Repos documentation](#)』[英語]を参照してください。

CLI を介してアクセスできるリポジトリがすでにある場合は、手順 4 に進みます。

ステップ 4 新しい公開キーをインポートするには、次のコマンドを使用します。

crypto key import <public key filename> repository <repository name>

インポートが完了すると、新しい公開キーを使用して SSH 経由で Cisco ISE にログインできます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。